

## 令和4年度「特色ある学校づくり対策事業」実践事例



所在地 佐世保市萩坂町1715番地  
 校長 藤瀬 安孝  
 児童数 139名  
 学級数 11学級



1 テーマ ふれあいの中で、豊かな心を持ち、たくましく生きぬく児童を育成する

### 2 目的

- (1) 児童の実態を分析し、課題を明確にした上で個に応じた指導の充実を図り、確かな学力の向上を目指す。
- (2) 地域や関係機関との連携・交流や体験活動等を通して、多くの人とのかかわりの中で、宮小学校を誇りに思い、故郷を愛する児童を育成する。
- (3) 「あいさつ運動」「読書活動」「体験学習」などを通して、児童の豊かな心を育てるとともに、「学校が楽しい」と喜んで登校するような明るい学校づくりを推進する。
- (4) 基本的な生活習慣に関する指導を充実させることで、健康に対する関心を高めるとともに自らの生活習慣を見直し、自己管理のできる児童の育成を図る。

### 3 実践内容

#### (1) 基礎学力の向上と指導法の改善

##### ① 学力検査の実施（4月、1月 年間2回）

本校児童の課題を明確にし、個に応じた指導を充実させるために、国語と算数の学力調査を4月と1月の2回実施した。学力調査の結果から本校の児童の課題として、読解力に課題があることが明確になった。そこで、朝のスキルタイムの活動を見直したり言葉にこだわった指導を充実させたりすることで課題の改善を図った。

学力調査の結果を受けて行ったスキルタイムの見直し

R3	
月	ぶくぶくタイム
火	読書
水	国語スキルタイム
木	算数スキルタイム
金	伝え合いスキルタイム

教科だけの指定

#### R4 国語スキルタイム

1週目	視写（時間制）
2週目	聴写
3週目	条件作文
4週目	語彙力向上 長文読解問題

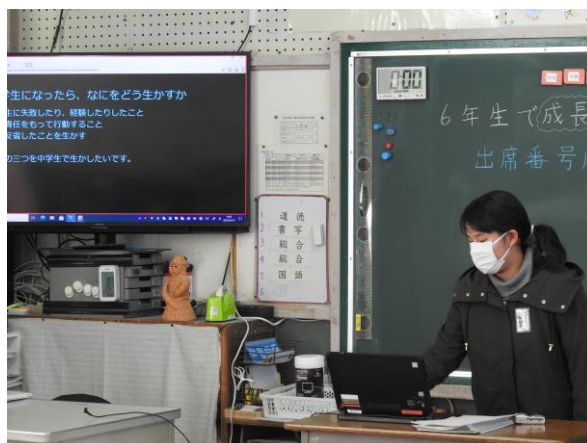
活動を細分化・具体化

## ② ICT機器を有効に活用した授業改善

一人一台端末やデジタル教科書、電子黒板、書画カメラを積極的に活用し、わかりやすい授業づくりに努めた。一人一台端末を活用した研究授業を行い、端末を効果的に活用した授業づくりを検討した。学校評価の「先生たちは、わかりやすい授業づくりに取り組んでいる。」では、児童の評価が3.6ポイント（達成率90.0%）と高い評価であった。



一人一台端末を活用した授業



Google スライドを活用した発表

## ③ 児童・保護者・家庭への啓発活動

「学習規律・基本的な生活習慣」の定着を図るために「みやっ子のまなび」（筆箱の中・机の中・授業前、授業中の約束）、「みやっ子のてびき」（聞く力・話すカレベル表、生活習慣、家庭学習）を見直し、下敷きにして配付を行った。また、家庭学習習慣の定着をめざし、毎月家庭学習がんばりカードを配付した。



家庭学習がんばりカード（2年）

	音読	国語	算数	じしゅ 学習	時間 分	おうちの 人の サイン	先生の サイン
10 (月)					分		
11 (火)					分		
12 (水)					分		
13 (木)					分		
14							

(2) ふるさとに根ざした活動の推進

① 地域の史跡巡り・伝統工芸について学ぼう

4年生は、長崎県の伝統芸能について学習した。波佐見焼の仕事をされてる保護者を講師に招聘し、伝統芸能についての知識を深めた。6年生は、酒造見学や地域の史跡、無窮洞を元宮地区コミュニティーセンター館長さんと連携して行い、地域の歴史や文化についての理解を深めることができた。



② 福祉学習「アイマスク体験」「車いす体験」

3年生は、社会福祉協議会と連携し、福祉学習に取り組んだ。車イス体験や目が不自由な方の話を聞く活動を通して、障害をもつ方の思いや願いを体感するとともに、自分たちにできることは何か考えることができた。



③ 「みそ作り体験」「米作り体験」

4年生による「みそ作り体験」、5年生による「米作り体験」を地域の関係団体と連携して実施した。活動を通して、生産者の努力や苦勞を知ることができた。みそづくりでは、収穫の喜びを味わうとともに、実際に調理することで、食べ物に対する感謝を深めることができた。



### (3) 豊かな心を育む活動の推進

#### ① 食育活動の推進

1・2年生は、大根、なす、ピーマン、落花生、キュウリ、カブ、ニンジン、サツマイモの野菜づくりを行った。栽培活動を通して、大地の恵みに感謝する気持ちを育むとともに収穫の喜びを体感することができた。



#### ② 読書活動の推進

読書に対する興味・関心を高めるために教職員からの「おすすめの本」の紹介や読書ビンゴカードの取組、図書ボランティアの方々と本校職員による朗読劇を行った。



#### ③ ふれあいコンサートの実施

歌手のタナカハルナさんをお招きして、ふれあいコンサートを実施した。歌を通して、自分の夢につながる最初の一步を踏み出すことの大切さを伝えていただいた。コンサート後の子どもの感想には、「ハルナさんの歌を聞いて、夢に向かうことは大事だと気づきました。」と書かれ、子どもたちの夢や希望をはぐくむ充実した時間となった。

